

あじさいネット OFF LINE 通信

2016.4
Vol. 18

Regional Health Information Network



あじさいネットの機能改善と機能追加	
「あじさいネット拡充プロジェクト」とは あじさいネット理事 松本 武浩 先生	p.2-3
あじさいネット機能紹介	
【AMEC】TV会議	p.4-5
会員様の声	
情報閲覧施設 長崎医院 長崎 省吾 先生	p.6
情報提供病院 諫早記念病院 医療連携室	p.7
あじさいネットからのお知らせ/ あじさいな人々／編集後記	p.8
お役立ち 情報提供病院 連絡先一覧表 / あじさいネット入会のご案内	別紙

現在の運用状況	
● 患者登録数：	52,848 名
● 会員数：	701 名
● 情報閲覧施設数：	251 施設
● 情報提供病院数：	31 施設
(平成28年3月15日現在)	

賛助会員	
◆ (株) ホギメディカル福岡営業所	
◆ 日本電気 (株) 医療ソリューション事業部	
◆ (株) L S I メディエンス	
◆ 富士通 (株) 長崎支店	
◆ (株) NTTデータ 公共システム事業本部	
◆ オフィスメーション (株)	



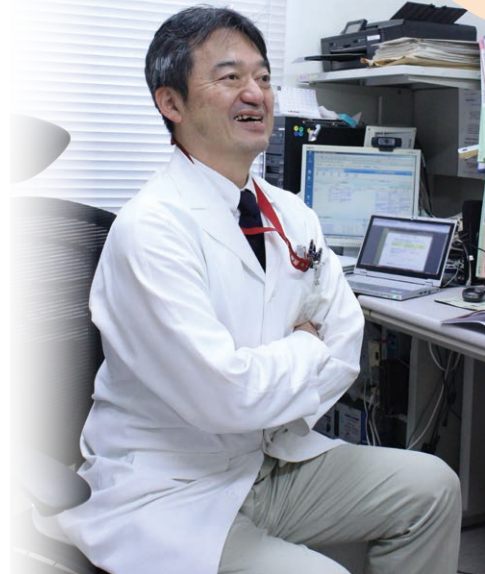
特定非営利活動法人
長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会 (あじさいネット)

事務局：〒852-8532 長崎県長崎市茂里町3番27号 (長崎県医師会内)
TEL. 095-844-1111 FAX. 095-844-1110 Eメール: aj-na@nagasaki.med.or.jp

あじさいネットの機能改善と機能追加

「あじさいネット拡充プロジェクト」とは

特定非営利活動法人
長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会 理事 松本 武浩先生
長崎大学病院 医療情報部 副部長



プロジェクト室」が予算化、補助金申請、運用体制指導、テスト運用支援、運用講習会の実施等を支援しており迅速な運用開始につなげています。

広報誌



診療所等の情報閲覧施設の参加促進のために本広報誌を2012年1月に創刊しました。年4回発行しています。



あじさいネットは2004年に、国立長崎医療センターの電子カルテを大村市の30箇所の診療所で共有する病診連携として生まれました。長崎市が2009年に参加したことで広域化しましたが、その後も数々の拠点病院が参加し、全国でも稀な県全域を網羅するネットワークへと発展しました。11年間の経過の中でより快適に利用できるよう少しずつ形を変えてきましたが、現在に至る機能改善や機能追加は、地域医療再生基金等の補助を利用しております。これを「あじさいネット拡充プロジェクト」と呼んでおり、この実働組織として設置された「あじさいネット拡充プロジェクト室」が担当しています。本頁では拡充プロジェクトで構築された機能について紹介します。

電子カルテ閲覧システム

長崎市の参加以来、情報提供病院は次々と増えました。今はDierLinkとHuman Bridge

を使ってすべての病院が利用できますが、2008年までは病院毎に別システムでそれぞれ操作方法が違っていたため、情報提供病院が増えるたびに不便になっていました。このため最初に取り組んだのはこの改善です。現在は全病院がDierLinkとHumanBridgeの中継サーバを経由することで、この二つの画面だけで利用でき、同系統の病院は時系列に表示することができるようですが、この開発と全病院のシステム移行を拡充プロジェクト室で行いました。これにより利用者の利便性は大きく向上しました。その後ICTネットワークは全国に広がっていますが、その多くがあじさいネットと同様のシステムを採用しています。さらに情報提供病院の参加を促すため、参加する上で必要な初期費用の支援を企画しました。この費用は病床規模により500万円から1400万円ほど必要であり、この半額を補助したわけですが、2011年以降に参加した18病院は全てこの補助を受けており、情報提供病院は12病院から31病院に増加しました。導入を決めた施設に対しては「あじさいネット拡充



ますが、これはあじさいネットの価値ある利用法を掲載することであじさいネットの魅力を伝え、参加施設の増加を期待しているものです。記事にご協力いただく先生方の負担にならないよう、訪問インタビュー形式としていたため、テープ起こしと編集に時間がかかる点が課題ですが、広報誌創刊時の情報閲覧施設は150施設、総会員数が221名から現在の251施設、701名へと増加しております。



遠隔画像診断

離島を多く抱える長崎県では、1990年

《賛助会員様広告欄》

HOGY®

一步先の手術室環境づくりをお手伝いします。

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。
国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。

株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344





より救急画像伝送システムを運用していません。機器の老朽化に伴いシステム更新が必要となり、この導入も担当しました。当時はフィルムスキャナで画像を取り込んで利用していたので画質は悪く、レポートもありませんでした。一般の遠隔読影サービス同様、各病院の画像管理サーバ(PACS)から直接DICOM画像を電送できるようにしたことで高画質の遠隔画像診断が可能となりました。また、救急だけでなく、日常診療の画像に対する遠隔画像診断の希望も多かったため、長崎大学病院放射線科のご協力を得て、本システムの兄弟システム導入により遠隔画像診断サービスも始まりました。

TV会議

長崎県医師会では県下全域の都市医師会を結ぶTV会議システムの構築を希望されていきました。これに対し、単なる多施設間のTV会議だけでなく、同時に各地点がサテライト会場として中継できる機能を持たせました。このTV会議は今や定期的な長崎県医師会の会議に利用され、長崎県医師会で実施される多くの講演や研修会が県内各地の都市医師会をサテライト会場として中継されており、それぞれの地域で参加できるようになっています。



ビデオ配信

このTV会議で中継



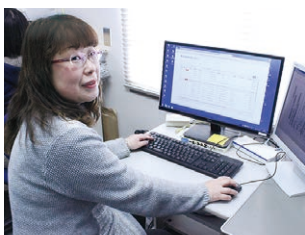
された講演や研修会に加え、様々な教育研修に有用な動画を全ての高画質ネットワーク導入施設が閲覧できるようにビデオの配信システムを準備しております。掲載動画集めに時間がかかっておりますが、すでに閲覧可能ですのでご利用下さい。

在宅医療

2014年より在宅医療での利用も始まり、患者宅での利用のためにモバイル端末i Padの利用システムも構築しました。これによって在宅医療での利用はもろろんのこと、通常の高画質ネットワーク利用においても利便性が向上しております。



周産期医療支援システム



次に周産期医療支援システムを構築しました。これは県内の産科医療機関において妊婦を登録し、日々の妊婦健診記録、分娩記録から新生児記録まで追いかけてデータベース化し分析することで、より安全で質の高い周産期医療を目指すシステムです。

検査データ共有システム

現在準備中のシステムとして検査データ共有システムがあります。これは診療所のあるじさいネットワーク上で自院の検査データが閲覧できるとともに、他施設と検査データの共有ができるシステムです。これらのデータは大きく、現在準備中の地域連携パスおよび症例データベースに必要な検査データを自動



これからのあじさいネット

入力することができ、情報提供病院からの検査データも同様に格納することで診療支援ができる画期的なシステムです。

あじさいネットは長いこと病診連携を中心に運用してまいりましたが、情報提供病院の増加に伴い積極的な病診連携の開始が希望されていきました。今回、仮想化技術を導入することで安全に病院間の診療情報を共有できる仕組みが完成しましたので、1月より各医療機関に環境整備を依頼し、一部運用を開始しました。今回の病診連携では、診療情報共有はもろろん、施設間のTV会議やビデオ配信の利用、検査データ共有、モバイル端末i Padの利用などこれまで構築してきた機能をすべての施設が利用できるよう準備をお願いしております。また、すでにこのような機能を利用した転院の際の情報共有やコンサルテーションでの利用の希望を多くの病院からいただいております。これまで構築してきた機能を十分に活用し、様々な場面で利用することで新たなあじさいネットの価値が生まれるものと思えます。なお、サービスが増えるにつれ日々の登録作業が増えておりますが、この多くは「あじさいネット」拡充プロジェクト室が担当しております。病診連携も軌道に乗ればますます登録作業は増えますので、登録に時間がかかることもありません。この点につきましてはご了承くださいたいと思えます。



あじさいネット拡充プロジェクト室では、室員一丸となり、進化するあじさいネットの拡充をサポートいたします。今後も、どうぞよろしくお願いいたします。

《賛助会員様広告欄》



Empowered by Innovation

NEC

見つめているのは、人びとの暮らしです。

人びとが安全・安心で豊かに暮らせる社会のために、私たちは先進的なICTで貢献します。

お問い合わせは NEC(医療ソリューション事業部)へ
〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル) TEL.03-3798-6756

<http://jpn.nec.com/>

TV会議 Net-Meeting



AMEC
AJISAI-net
Medical Education
& Communication

Ajisai-net Medical Education & Communication

病病連携から、ますます広がる!

TV会議

あじさいネットTV会議の特徴

従来のテレビ会議開催は、参加者全員が回線の契約、システムの導入、機器の用意や設置等、様々な準備を必要とします。このためTV会議の開催は手軽ではありませんでした。けれど、あじさいネットでは、あじさいネットへ繋がる端末に、マイク・スピーカ・Webカメラをセットし、あじさいネットにログインすれば、どの場所でもTV会議を手軽に開催できます。iPadならもっと簡単です。

また、インターネット使用のTV会議と違い、あじさいネットは高度に暗号化された回線を使用し、1台1台の端末を管理していますので、高いセキュリティを実現しています。これは個人情報扱う医療関係者には大きな安心となってくれます。

あじさいネットTV会議は、会議、講義、講習、カンファランスと様々な場面で会員同士を繋ぐツールとなります。

会議に参加できる方

あじさいネットに接続できるVPN機器(OnDemandアダプタ)を施設に設置済みで、パソコンであじさいネットを利用されている正会員様(IDが「a」「c」で始まる会員様)

※ポータル会員様(IDが「p」で始まる会員様)はご利用になれません。

参加に必要な機器

●パソコンで参加する場合

VPN機器(OnDemandアダプタ)に接続されているパソコン、Webカメラ、マイク、スピーカかヘッドセット。

●iPadで参加する場合

あじさいネットに接続できるiPad

※一部の情報提供病院様では、院内ネットワーク設定の関係上、ご利用できない状態となっております。ご利用できない情報提供病院様は貴院システム担当者様にご相談ください。

参加のご利用料金

参加の費用はかかりません。



Webカメラ



マイクスピーカー

会議を主催するには？

あじさいネットTV会議を使用するには、あじさいネット事務局へ会議室開設を申請する必要があります。

申請方法

①あじさいネット事務局へ申請書を請求

〈申請書記入内容〉

- ・主催元名称・住所
- ・使用者(会・団体・会社)名
- ・申込担当者名
- ・連絡先
- ・会議タイトル
- ・会議室名(15文字以内)
- ・利用希望日、時間帯、会場数※1
- ・参加予定人数
- ・入室制限をしたい場合は入室用パスワード

※1 郡市医師会館をサテライト会場としたい場合、事前に主催者側で対象郡市医師会館の許可をお取りください。

②必要事項を記入後、申請書をあじさいネット事務局へ返送

③後日、あじさいネット事務局より、申込担当者へ連絡

会議を主催のご利用料金

料金は規定されておりますが、その都度常任理事会に諮り決定しています。詳細はあじさいネット事務局までお問い合わせください。

《賛助会員様広告欄》

ヘルスケアの未来を変えていく。



株式会社LSIメディエンス

臨床検査 / 健康診断サポート / 診断薬・機器 / 創業支援 / 環境リスク評価 / 食の安全サポート / ドーピング検査

LSIメディエンスは、(株)三菱ケミカルホールディングスの事業会社である(株)生命科学インスティテュート(Life Science Institute, Inc.)のグループ企業です。

〒101-8517 東京都千代田区内神田一丁目13番4号 THE KAITEKI ビル

THE KAITEKI COMPANY
三菱ケミカルホールディングスグループ



TV会議 ご参加のしかた

※画面は2016年3月現在のものです。
表示等、変更になる場合があります。

※参加の前に、必要な機器(マイク、スピーカ、Webカメラ)が
パソコンに接続されているか確認してください。



3

参加したい会議室を選択する
「スケジュール一覧」、もしくは
「常設会議室」より、主催者から
指定された会議室を選択し、「入
室」ボタンをクリックする。



1

**あじさいネットに
ログインする**
画面の下の方にある「AMEC」
ボタンをクリックする。



4

TV会議を行う
他の拠点の映像が表示され、
TV会議が行えます。



2

「TV会議」をクリック
「AMEC」トップ画面になる
ので「TV会議」(紫の四角)
をクリックする。



iPadでもTV会議に参加できます。
詳しくはあじさいネット事務局があじ
さいネット拡充プロジェクト室までご
連絡ください。

※操作の詳細に関しては、操作マニュアルを用意していますので、あじさい
ネット事務局があじさいネット拡充プロジェクト室までご連絡ください。

※参加の概要は動画マニュアルがあります。
「AMEC」→「医療関連ビデオ配信」→「マニユル」で検索!

《賛助会員様広告欄》

「つなぐ医療」から、
「支える医療」へ。



shaping tomorrow with you
社会とお客様の豊かな未来のために

FUJITSU

富士通は、医療の未来をカタチにしていきます。

地域医療ネットワークの整備が進むなか、富士通は、地域と住民を「支える医療」にいち早く着手。
災害時の事業継続、ビッグデータによる個別化医療、創薬の加速化をサポートします。

HumanBridge EHRソリューション

製品・サービスについてのお問い合わせは
富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200 (受付時間 9:00~17:30 土・日・祝日・年末年始を除く)
<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/products/humanbridge/>

あじさいネットを活用して連携を深め、 共に地域医療を支えていく

ながさき せいご
医療法人社団 長崎医院 院長 長崎省吾 先生

地域医療連携に役立つ システム作り

地域医療を支えていくには、かかりつけ医、二次医療機関、三次医療機関との連携が重要です。役割分担をし、患者さんの医療情報を共有しながら、それぞれの役割機能を発揮することが求められます。患者さんが状態に応じた適切な医療機関を安心して受診できるような環境作りに努め、その結果として重複する検査や薬を省いていければ、無駄な医療費の削減にも繋がります。

地域完結型医療の推進を目指すという医療従事者の意識を高めていくためにも、大村市医師会では二十年程前から医療連携システムの構築に取り掛かりました。最初はファックスを利用した情報共有から始まりましたが、これからはITを活用したシステムを必要とする時代が必ず来ると考え、長崎医療センターや大村市市民病院のITに詳しい先生方と一緒に

平成16年
あじさいネット
入会



になって発足したのがあじさいネットです。私も世話役の一人として、どのような困難があるうとも押し進めるべきという信念を持って臨んだ事業です。大村市だけではなく、長崎県下における共通のシステムとしての活用を目指し、いずれは県医師会に引き継いで頂ければと願っていました。あじさいネット発足前は、まだまだITに不慣れた会員が多く、当初は理解を得るのに苦労しましたが、当医師会でパソコン操作教室を開催したり、各都市医師会であじさいネットに関する講演会の開催を重ねたりして、あじさいネットの普及に努めました。

ここまであじさいネットが順調な発展を遂げられたのは、医療IT化への情熱と熱意を持った多くの関係者のご尽力によるものと思っております。現在、多くの方々に活用されており、発足当時の世話人としては嬉しい限りであります。

垣根のない 相互連携の広がり期待

あじさいネットを利用すると、基幹病院へ紹介した患者さんの検査結果等の診療情報をしっかりと把握することができ、午前中に画像検査がされると、午後位には所見と合わせて画像がアップされており、患者さんの受診時には一緒にMRIやCTの画像を見ながら、どのような病気が疑われているのか、また治療方針についてなど、我々かかりつけ医が患者さんに説明する際にも大いに役立ちます。他の先生の考え方や診

断などの情報が得られるため、セカンドオピニオン的にも活用できると思っております。

IT活用が当たり前となるこれからは、かかりつけ医と基幹病院が密に連携していくためには尚更欠かせないものなのです。今後、国が更に押し進めていこうとしている在宅医療に於いても、それに関わる多職種間での情報交換の手段として大いに役立てて欲しいと願っております。また、基幹病院からの医療情報だけではなく、かかりつけ医からの医療情報提供も進んでいき、将来的には県を越えて医療連携ができるよう、全国共通のシステムになればと願っております。長崎県下で更にしっかりと発展させていき、全国的に益々誇れるものとなることを期待しています。

歩く、登るを 満喫する休日

ゴルフ、ドライブ、絵画鑑賞といった趣味もありますが、休日は、ウォーキングと登山を樂しむことが多いです。大村市医師会の「歩こう会」、「登ろう会」という同好会に所属しており、登山の訓練のため、「歩こう会」には出来る限り参加するようにしております。これまでも、歴史を辿りながら長崎街道を長崎—小倉まで歩いたり、東南アジア最高峰のキナバル山や台湾の玉山等の登山に六十三歳より挑戦してきました。健康維持や加齢による意欲低下の防止のためにも続けていきたいと思っております。

長崎医院 TEL. 0957-55-8615 E-mail: snaga@octp-net.ne.jp

《賛助会員様広告欄》

安心と安全を届けます **NTT Data**
Global IT Innovator

医療法人 宏善会

諫早記念病院

諫早記念病院は平成26年7月に診療情報提供をスタートしました。
基本理念：「心のこもった医療」



地域の医療機関と連携を充実させるための取り組み

当院は昭和二十八年に開設して以来、地域に根ざした医療提供に取り組んできました。運営していく上で地域連携は必須であり、重要な課題の一つです。副院長でもある室長、及び三名の医療ソーシャルワーカーが在籍する地域連携室が窓口となり、各医療機関との円滑な連携を図っていくよう努めています。

あじさいネットには平成二十六年より情報提供病院として参加しています。患者さんを紹介してくださった先生方へ検査結果や画像を公開し、より一層スムーズな病診連携ができるよう進めています。同時に、先生方とのお互いに「顔の見える連携」も必要だと考えていますので、医師会主催の研修会等には積極的に参加し、共同で質の高い医療を

あじさいネットには大きな期待を寄せており、利用することによって患者さんのためになることが何よりも大切だと思っています。これから、病診連携、病病連携を含めて更に利用者の増加が予想されます。簡便に使える反面、膨大な患者さんの情報を守るため、セキュリティの問題についてはしっかりと対策していただければと思っています。

あじさいネットを利用すれば、基幹病院で保存されている病歴や検査所見といった正確な情報を確認することができます。診療所の先生方との連携により、継続的な治療を行うのに役立ちますし、不必要な投薬や検査を避けることができるのも大きなメリットです。

あじさいネットを活用し、より良い医療を患者さんへ

目指していく体制作りにも力を入れています。また、当院の医療にかかわる情報についてはホームページを通して発信中です。是非ご覧いただき、地域の皆様との連携へ繋がればと思っています。



院長 山口 義彦 先生

医療連携室スタッフより

- ・あじさいネットに参加して医療情報を提供することにより、地域の医療レベルに当院が届いてない点があれば気づきやすくなることもあるかと思えます。周りを参考にしながら、病院全体がレベルアップできるのではないかと期待しています。
- ・当院に患者さんをご紹介くださっている先生方の中で、あじさいネットの会員ではない方には是非入会していただき、患者さんの情報を見て、今後の診療に活かしていただければと思います。
- ・同意書が届いたら15分以内の登録を心がけておりますが、他の業務と重なった場合にはお待ちいただく場合もありますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

あじさいネットは医療機関が情報を共有し、連携するのに大変有用なツールです。参加している我々もできる限り発展に尽くしていきたいと考えており、今後全国的にも活用されるネットワークとなることを望んでいます。

《賛助会員様広告欄》

医療法人仁寿会

南野病院 様

『あじさいネット』で新たに情報提供を開始されます。

患者様に安全と安心と満足を提供します。



オフィスメーション株式会社

長崎市金屋町2-6 電腦BLD.
<http://www.nagasaki-om.co.jp>

お問い合わせ 095-895-8188

(ヘルスケア直通)

FUJITSU
オフィスメーション株式会社は
富士通パートナーです。

『あじさいネット』に
協賛しています。



あじさいネット

AJISAI NET Regional Health Information Network

診療所・薬局・訪問看護施設などの皆様へ

入会のご案内

入会申請から利用開始までの流れ

入会申請書を提出する

入会申請書に必要事項を記入し、あじさいネット事務局へ提出します。(申請書はホームページからダウンロードできます)

施設が新規に入会する時に必要な書類

- 施設入会申請書【情報閲覧施設用】
- 機器設置ヒアリングシート
- 入会する人数分の個人入会申請書

運用講習会を受講する

あじさいネットの概要や、利用に際し必要な事をご説明する「運用講習会」を受講していただけます。
(講習会の日時や場所は、入会申請受理後にご案内いたします)
受講が終わると、あじさい会員IDが発行されます。

機器を設置する

あじさいネットを利用するために必要なVPN機器の設置をするため、専門業者が施設にお伺いいたします。
(設置の日程については入会申請後、専門業者よりご案内いたします。)

初期費用・利用料のお支払い

入会金・初期設定費用・利用料をお支払いいただきます。
※「利用料」は会費およびシステム料・ウィルス対策費用で、毎年10月以降に1年分を請求します。入会時は機器設置の翌月から9月分までを一括でお支払い下さい。

ご利用開始

これであじさいネットが利用可能です。
患者さんから同意書を取り、情報提供病院にFAXすると約15分で診療情報が閲覧できるようになります。
皆様の日々の診療にぜひお役立て下さい。

あじさいネットは、医療関係機関を強固なセキュリティネットワークでつなぎ、様々な情報をやりとりできる全国屈指の医療連携ネットワークシステムです。
あじさいネット上では、情報提供病院の診療情報を閲覧するサービスを始めとして、その他にも様々なサービス・機能を提供しております。今後さらなる機能拡張・追加を予定しています。
入会申し込みからご利用開始までの手順は、左記の通りです。たくさんの方の医療関係機関の参加をお待ちしています。

あじさいネットではこんな機能が使えます

- ・情報提供病院の診療情報閲覧
- ・セキユアメール
- ・TV会議システム
- ・医療関係動画配信
- ・周産期医療支援システム
- ・地域包括ケアチーム医療
- ・糖尿病疾病管理システム
- ・地域連携パス
- ・検査データ共有

特別な機器が必要?
通常のインターネットができるWindowsパソコン
モバイルでも使える?
iPadでもご利用になります。ただし、パソコンで利用できることが前提となっており、iPadのみでの入会利用はできません。
また、通常の利用料とは別に、iPad1台あたり月額700円の料金がかかります。

あじさいネット会員区分とご利用料金

5人以上入会する施設は、会費が割引になります。
詳しい金額はあじさいネット事務局までご確認ください。

(表中の価格は全て税込です)

	正会員	準会員*	ポータル会員*	システム料 (パソコン1台毎)	ウィルス対策ソフト ライセンス料 (パソコン1台毎)				
年会費 (1年分一括払い)	36,000円 (月額3,000円)	12,000円 (月額1,000円)	1,200円 (月額200円)	12,000円 (月額1,000円)	3,000円				
利用できる機能	あじさいネット 基本機能全て	あじさいネット 基本機能全て	希望する 1機能のみ	<table border="1"> <tr> <td>入会金</td> <td>初期設定費用</td> </tr> <tr> <td>50,000円</td> <td>30,000円</td> </tr> </table>	入会金	初期設定費用	50,000円	30,000円	
入会金	初期設定費用								
50,000円	30,000円								
総会議決権	○	×	×						

* 1施設において、少なくとも1人は正会員となります。「準会員」または「ポータル会員」は、2人目以降の入会者について選択可能となります。

入会についてのお問い合わせ先
あじさいネット事務局(長崎県医師会内)
TEL. 095-844-1111

申請書類ダウンロード: あじさいネットホームページ
<http://www.ajisai-net.org/>
「医療関係の皆さま」→「入会・退会申請書」のページからダウンロードしてください。



あじさいネット説明同意書の送付先一覧

AJS NET

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2016年4月現在：情報提供病院31施設)

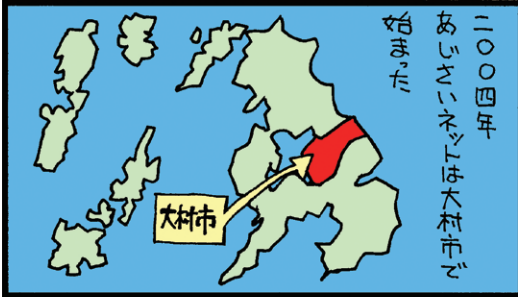
	医療機関名	FAX番号	電話番号
県央・佐賀	国立病院機構 長崎医療センター 地域医療連携室	0120-731-063	0120-731-062
	市立大村市民病院 地域医療連携室	0120-378-375	0957-52-1800
	国立病院機構 長崎川棚医療センター 地域医療支援センター	0120-82-2970	0956-82-3121
	諫早総合病院 医療連携室	0120-1388-35	0957-22-1380
	貞松病院 地域医療連携室	0957-54-1165	0957-54-1161
	愛野記念病院 地域医療連携室	0957-36-0731	0957-36-3950
	諫早記念病院 医療連携室	0957-22-2903	0957-22-0370
	日赤長崎原爆諫早病院 医療連携室	0957-43-2870	0957-43-2111
	南野病院 地域医療連携室	0957-54-8752	0957-47-5200
	国立病院機構 嬉野医療センター 地域医療連携室	0120-473-489	0954-43-1213
長崎	光晴会病院 地域医療連携室	0120-573-632	095-857-3563
	十善会病院 地域連携室	095-818-5388	095-821-1214
	長崎大学病院 地域医療連携センター	095-819-7305	095-819-7930
	長崎みなとメディカルセンター 市民病院 医療連携センター	095-821-1116	095-822-3251
	日赤長崎原爆病院 病診連携室	0120-845-262	0120-845-261
	済生会長崎病院 地域連携推進室	095-827-7025	095-827-7021
	聖フランシスコ病院 地域連携科	095-845-7600	095-846-2553
	井上病院 地域連携室	095-849-6622	095-844-1281
	長崎記念病院 地域連携室	095-871-1510	095-871-1515
	長崎北病院 診療録管理室	095-886-8707	095-886-8700
	虹が丘病院 地域医療連携室	095-856-1102	095-856-1112
	上戸町病院 地域連携室	095-832-5616	095-832-5615
	国立病院機構 長崎病院 地域医療連携室	095-808-0176	095-824-2788
	五島・壱岐	長崎県上五島病院 地域医療連携室	0959-52-8150
長崎県五島中央病院 地域医療連携室		0959-75-0657	0959-72-3181
長崎県壱岐病院 地域医療連携室		0920-47-1136	0920-47-1135
光武内科循環器科病院 地域連携課		0920-48-1655	0920-47-0023
県北	佐世保市総合医療センター ※2016/4/1 地域連携センター 「佐世保市立総合病院」から施設名変更	0956-24-0474	0956-24-1515
	佐世保中央病院 地域医療連携センター	0800-7000-070	0120-33-8293
	佐世保共済病院 医療連携室	0120-12-2067	0956-22-5136
	長崎労災病院 地域医療連携室	0120-666-437	0956-49-2191

あじさいネット説明同意書は、必ず上記 FAX 番号あてに送信してください。

同じ病院内でも違う番号（代表番号等）あてに FAX すると、処理に時間がかかる場合があります。

あじさいな人々

たくま かずひこ

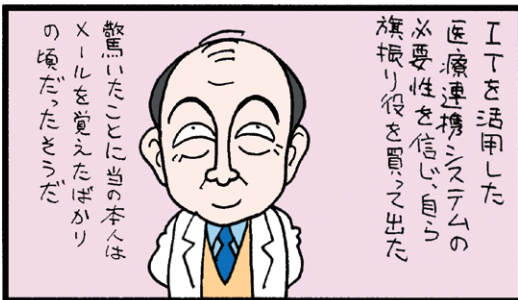


二〇〇四年、あじさいネットは大崎市で始まった。



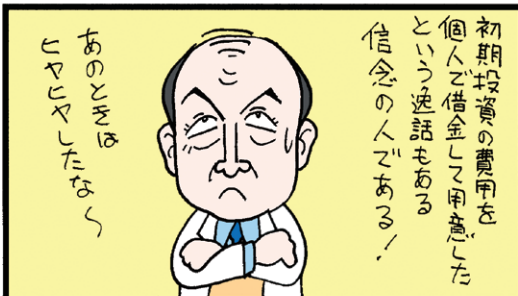
そのゴーストを出したのがこの男、長崎省吾。前大崎市医師会長

趣味は山登り



工下を活用した「医療連携システム」の必要性を信じ、自ら旗振り役を買って出た

敬慕したことこの本人はXメールを覚えたばかりの頃だ。たさうだ



初期投資の費用を個人で借金して用意したとこの逸話もある。信念の人である！

あのときは、こまじやしたなく

漫画制作：たくま医院 院長 詫摩和彦先生 (長崎市医師会所属/長崎在宅 Dr. ネット理事)

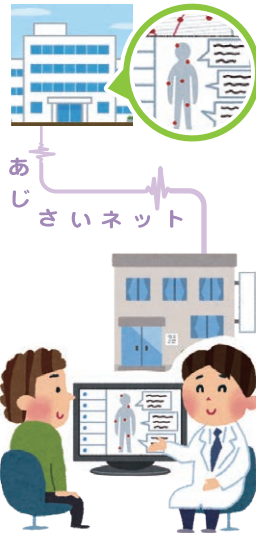
あじさいネット からのお知らせ

速報!

平成28年度診療報酬改定で あじさいネット利用に診療点数が付与されました!!

これまであじさいネットでは質の高い地域完結型医療を目的に運用を続けて参りました。

同時に、利用する上で会費等による経済面での負担があるので診療報酬での評価を希望して参りましたが、ついにあじさいネット利用で算定できることになりました。ICTを使った診療情報共有による診療スタイルが価値あるものと認めていただいた結果と思えます。算定方法や手続き方法についてはすでにご案内をしておりますが、ご質問等がありましたらあじさいネット事務局までお願いいたします。



提供側、閲覧側のどちらも点数が付きます!



次号(2016年7月発行予定)で詳しくご紹介いたします。

あじさいポータル画面のデザインが変わりました。

2016年3月、2回に渡りあじさいネットの大規模メンテナンス(サーバ機器入替え、およびSSOシステム更改)が行われました。それに伴い、あじさいネットログイン後の画面(通称「ポータル画面」)のデザインが変更になりました。これまでのデザインを踏襲しつつ、レイアウトの見直し等で利便性の向上を図っています。

あじさいネット に関するお問い合わせ・入会お申込み

あじさいネット事務局 (長崎県医師会内)

TEL.095-844-1111 FAX.095-844-1110

aj-na@nagasaki.med.or.jp

編集後記

あじさいネットOFF LINE通信 編集長 松本武浩

本年度は長崎県対馬病院が情報提供病院として参加予定です。これで五島、上五島、杵岐、対馬と本県の離島の主要病院がすべて情報提供病院として参加することになります。

会員様の利用形態は従来からの病診連携、病業連携に加え、在宅医療での利用件数も増えつつあります。これに伴い、参加職種は医師・薬剤師・看護師に加え、ケアマネジャー・作業療法士・社会福祉士などの多職種に広がっています。離島地域では特に職種間の連携が密であるため、地域包括ケアを見据えた在宅診療、在宅介護での利用の活発化が期待されます。

また、診療情報のコピー制限の機能追加により、多くの情報提供病院の念願だった病病連携がいよいよ始まります。2次・3次病院連携での利用や、地域医療計画に基づき今後進められる医療機関間の機能分化に伴い、診療情報共有はより重要になっていきます。

新たなあじさいネットの価値に期待したいと思えます。



あじさいネット発展のために力を合わせて頑張っています!

ajisai-project@nagasaki.med.or.jp



この広報誌のご感想をぜひ、あじさいネット拡充プロジェクト室までお寄せ下さい。

